

22 建築大工 Carpentry



真剣に木へ向きあって美しく正確な建造物を建てる!

主に木造での建築に従事する職人を指す「建築大工」。木造建築物を建てるには、墨付け、加工、建方、造作取付けなどの技術が必要です。競技では、課題図に示された複雑な形状の木造小屋組の一部を製作し、その技術・技能や出来栄を競います。原寸図→部材の木削り→墨付け→加工仕上げ→組立ての順で進められる競技は2日間、12時間にわたり、素早く正確な作業であることはもちろん、仕上がりの美しさが求められます。選手たちの木に真剣に向き合う姿勢にも注目です。



練習で鍛えた自慢の腕と技で ものづくりを極める!

ポイントとなるのは美しさ。競技では決められた時間内に木造小屋組みを製作し、その出来栄を競います。作業はたくさんの工程に分かれ、それぞれに高い精度が求められます。特に部材の木削りでは、断面の寸法の正確性が必要となるため、よく切れるカンナとその調整が必要です。技能はもちろん道具への知識とこだわりがあって、初めて素早く正確な作業ができて美しい建造物が建てられるのです。

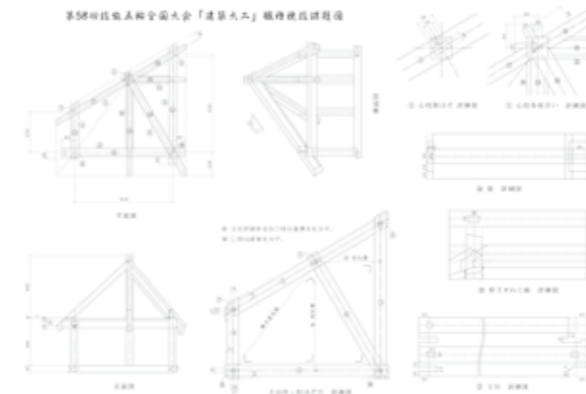
様々な
道具を使って
組み上げる!



競技について

競技時間 2日/12時間

今年の競技課題は『柱建て小屋組』の製作です。原寸図を作成し、それをもとに柱を立てて屋根をのせていきます。早く正確にすべての基本となる原寸図を完成させ、たくさんの部材を1.5mm増し程度の高精度な範囲で切り出し、組立てていく。建築大工としての基本から応用まで、幅広い技能を駆使して各作業を実施します。



参考:第58回技能五輪全国大会 競技課題図

競技職種と生活との関わり

日本は、木造建築が盛んな国の一つです。木造建築を建てる上で欠かすことのできない存在、それが現場で働く大工さんたちです。多くが建設会社や工務店に勤務し、様々な木造建築の建築や修理の現場で活躍しています。近年、木造建築そのものの需要は低下しつつありますが、木造住宅や寺社仏閣の数は一定程度に維持されており、技術に長けた大工さんの必要性は変わりません。後継者不足の深刻化により、若い世代の大工さんは重宝される傾向にあります。

2019年大会の成績

第57回技能五輪全国大会出場時点 / 2019年11月

金	(有)近藤工務店	後藤 拓矢さん(愛知県)
銀	埼玉土建一般労働組合	成川 弘将さん(埼玉県)
	住友林業建築技術専門学校	相馬 光也さん(千葉県)
	建設埼玉	齋藤 大起さん(埼玉県)
銅	職業能力開発短期大学校 東京建築カレッジ	小坂 哲平さん(東京都)
	山形県立山形工業高等学校	日野 ゆずさん(山形県)
	(株)広翔カワハラ	石橋 昂さん(北海道)
敢闘	(有)壱創舎	佐々木 僚介さん(岩手県)
	住友林業建築技術専門学校	長谷川 亮太さん(千葉県)
	野場建築(久慈職業訓練協会)	野場 剣也さん(岩手県)
	住友林業建築技術専門学校	阿久津 京介さん(千葉県)
	建設埼玉	小川 沙紀さん(埼玉県)
	(一社)新潟県建築組合連合会	高橋 遥さん(新潟県)
	(株)天峰建設	葛城 圭巳汰さん(静岡県)
	(株)近江建設	神保 混太さん(山形県)

金賞
後藤 拓矢さん
(有)近藤工務店

無心で競技に
取り組んでいたら、
金メダルが
獲得できました!

2019年大会
競技課題

